「吹田市市民公益活動審議会」第77回会議 議事要録

開催日 令和3年（2021年）7月28日（水）9時45分～

場 所 市民公益活動センター（ラコルタ） 会議室

出席者

（1）委員（敬称略。50音順）

梅村 賢作、鍵谷 誠一、久保田 賢一、栗田 智代、近藤 加奈美、辻 守生、
橋本 徹也、森 俊弥、山本 保治

（2）事務局

市民自治推進室 高島室長、田家参事、加樂主幹、鶴岡主査、森本係員、
市民公益活動センター（ラコルタ） 柳瀬センター長

議題

- 1 諮問書交付
- 2 令和3年度地域住民居場所づくり活動補助金審査
- 3 令和3年度市民公益活動促進補助金審査

配付資料

- ・【資料1】第77回市民公益活動審議会の進行等について
- ・【資料2】地域住民居場所づくり活動補助金審査について
- ・【資料3】市民公益活動促進補助金審査について
- ・【資料4】市民公益活動補助金申請書類
- ・【資料5】複数回数申請団体及び申請事業
- ・【資料6】事前質問への回答（市民公益活動促進補助金申請団体分）
- ・【別紙1】質問表
- ・【別紙2】採点表
- ・審議会委員からの質問に対する団体の回答
- ・市民公益活動促進補助金推薦順補助額一覧表

会議の公開・非公開について

非公開

（下記に該当するため）

「吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針」における

9 会議の公開

（2） 次のいずれかに該当するときは、会議を公開しないことができる。

ウ 会議を公開することにより会議の目的を失わせ、公正かつ円滑な運営に支障が生じると認められるとき。

会議の開催日までの流れ

委員は、地域住民居場所づくり活動補助金事前協議申請団体及び市民公益活動促進補助金申請団体の申請書類、補助金申請事業のプレゼンテーションのオンラインでの視聴、及び文書で実施した団体との質疑を基に市民公益活動促進補助金についての採点を終えて審議会に出席。

会長：ただ今から第77回吹田市市民公益活動審議会を開催します。

まず、本日の会議傍聴について事務局よりお願いします。

事務局：吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針9（2）ウの規定により、公正かつ円滑な運営のため、傍聴は認めないものとします。

会長：事務局の説明のとおり取り扱うこととします。

1 諮問書交付

会長：議題に入ります。次第の1「諮問書交付」に関して、令和3年度吹田市市民公益活動促進補助金の交付審査について、市長より諮問がありました。事務局から説明をお願いします。

事務局：諮問書について説明

会長：続いて、審査の方法について事務局より説明していただきます。

事務局：審査方法について説明

審議会委員が応募団体又は事前協議団体の役員等になっている場合、審査の公平性を期すため、全審査から外れるものと規定しているため、該当される方はお申し出ください。

委員：申し出なし

2 令和3年度地域住民居場所づくり活動補助金交付審査

会長：次第の2 令和3年度地域住民居場所づくり活動補助金交付審査について議題とします。

何か、御意見・御質問がありましたらお願いします。

委員：何年目の申請になりますか。

事務局：2団体とも6年目の申請になります。

委員：本補助金に実施期間はありますか。

事務局：平成28年度から令和2年度までの5年間の実施とし、5年間で他の事業との整理・統合や事業継続について検証することとなっていました。5年目の令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、十分な検証ができなかったため、検証期間を1年間延長し、令和3年度に結論を出すこととなっています。

委員：どのように検証しているのですか。

事務局：各団体からの毎年の事業報告と、例年行っている審議会委員の現場訪問をもとに、委員の意見も考慮しながら、市民自治推進室で検証しています。

会長：他に何かありませんか。

委員：なし

会長：2団体とも継続して補助金を交付する、ということでよろしいでしょうか。

委員：異議なし

会長：では、2団体とも令和3年度も交付することを適当とする、ということに決定しました。

3 令和3年度吹田市市民公益活動促進補助金交付審査

会長：次に、次第の3、令和3年度吹田市市民公益活動促進補助金の交付審査について議題とします。事務局より資料についての説明をお願いします。

事務局：資料3、4、5、6について説明

会長：それでは審議をしていきます。

まず、団体①について、何か御意見ありますか。

事務局：5年目の申請で、強化発展あり、として申請されています。継続事業という判断になれば、限度額が73,481円となります。

(主な意見)

- ・強化発展ありとして申請していますが、継続事業と評価します。
- ・広告や協賛金を得て、活動としてはかなり自立しつつあると感じる。
- ・昨年度も団体に申し上げたが、男性の育児参加に係わる視点があまり見受けられなかった。

会長：強化発展ありとして申請いただいておりますが、継続事業として73,481円を交付するという
ことでよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体②について、何か御意見ありますか。

(主な意見)

- ・事業名が、分野名となっており、少し大きすぎるのではないか。

会長：申請額と同額を交付するということがいかがでしょうか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体③について、何か御意見ありますか。スタート支援コースでの初めての申請です。

事務局：人件費は当該事業内容に鑑み、事業総額に対し妥当なものになっているかを判断する、
と募集要項に記載しておりますが、本事業においては、スタッフ人件費が申請事業総額に対し
て47%となっており、この人件費をどう考えるかについても審議をお願いします。

(主な意見)

- ・出来て間もない母体となるNPO法人が、大きな額の予算をしかも大きな赤字で組んでいるのが、申請事業の自立性の点で気になる。
- ・色々な団体のネットワークを作ろうという事業であれば、参加する団体の共催という形で事業展開するのも一つの方法ではないか。
- ・活動の理念は非常にすばらしく、スタート支援コースでの申請でもあり、できれば事業を継続されていくことを後押ししたい。ただし、事業の持続可能性の点からも、人件費や報償費等の経費を下げるべきではないか。

会長：事業の継続性の観点からも、スタッフ賃金の単価を最低賃金を考慮して1,000円として計

算した事業総額 130,000 円の 2 分の 1 の額と、事業の総額から事業に係る収入を引いた額の低い方の額である 40,000 円を交付するものとしてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体④について、何か御意見ありますか。

事務局：自立支援コースの 1 年目の申請です。事業費中にお茶代や料理教室の材料費等、通常、対象外経費としているものが含まれており、その交付についても審議をお願いします。

(主な意見)

- ・吹田くわいの普及ということで、活動の活動としては後押ししたいが、補助する内容については精査すべきである。
- ・事業の PR 方法等、今後さらに検討いただきたい。
- ・企業への栽培促進については、昨年度もされていた活動で既に自立出来ているので、補助対象にすべきではないのではないか。
- ・企業への栽培促進について、企業の CSR 活動であれば、その企業が費用も出すべきではないか。

委員：今年度の交付額を減額した場合、来年度以降は今回交付額から逡減する形になりますか。

事務局：新規・拡充でなく継続事業であった場合、そうなります。

会長：企業への栽培促進、については対象外とし、それ以外の経費で材料費を除いた、総額 85,000 円を補助対象経費とし、その 2 分の 1 の 42,500 円を交付額としてよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：次に団体⑤について、何か御意見ありますか。

(主な意見)

- ・活動をスタートされるための応募であり、是非支援したい。
- ・一番お金がかかる編集作業が自前になっているなど、内容として本当に必要な分だけ計上されている。
- ・長年かけて段階的に広めることで吹田の文化として根付かせる、ということであるが、広げるために、事業所対象の活動以外にも、無料のツールなども活用して広報活動にも取り組んでいただきたい。

会長：それでは、申請どおり 38,000 円を交付するということがよろしいですか。

委員：異議なし

会長：そのように決定します。

会長：以上で審議を終わりますが、今年度の市民公益活動促進補助金の申請数が 5 件であり少な

いという印象を受けます。補助金の広報というのも今後考えていかなければいけないと感じました。

事務局：年々申請団体が減る傾向にはありましたが、今回については、新型コロナウイルス感染症の影響ではないかと考えています。

会長：それでは、これをもちまして第77回吹田市市民公益活動審議会を閉会します。ありがとうございました。